

家族5人が今夜帰国



会談を終えて金正日総書記と握手する小泉首相 = 22日午後0時36分、平壤市郊外の大同江迎賓館(代表撮影・共同)

曾我さん、家族と北京で面会へ

【平壤22日共同】北朝鮮に残された拉致被害者家族五人の帰国が決まった。小泉純一郎首相が二十二日訪朝し、平壤で金正日総書記と会談し、確認した。五人は同日中に帰国、夜に一年七カ月ぶりに家族と再会する。曾我ひとみさん(四五)の夫で元米兵のジェンキンスさん(六四)と娘二人の来日は今回見送られたが、後日に北京など第三国で面会することを調整している。

帰国するのは地村保志さん(四〇)夫妻の一女二男と、蓮池薫さん(四六)夫妻の一男一男。日本政府は首相が拉致被害者家族八人全員を連れて帰ることを最大の目的としていたが、実現しなかった。一方、金総書記は拉致被害者のうち、「死亡」などと伝えていた十人の安否不明者の再調査を約束した。

成果としては不十分との声も出てきそうだが、ジェンキンスさんについては、脱走罪で米国から訴追される可能性があり、小泉首相ら日本政府の説得にも難色を示したとみられる。

二〇〇二年十月に拉致被害者五人が永住帰国した後、日本政府はその家族の帰国・来日を無条件で実現するよう北朝鮮に求めてきた。しかし、北朝鮮は応じなかったため、事態打開を目指し小泉首相自ら訪朝を決断した。